

団体名	島根大学						
事業名	しまねの里山と世界をつなぐ実践活動2025 in 雲南 —中山間地域の「農」を通じた交流と「農」の魅力発見—						
実施期間	令和7年6月6日～6月7日						
場 所	島根県雲南市						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	108	12	5	84	18	0	227名

<実施内容>

島根大学では、6月6日（金）から6月7日（土）にかけて、包括協定を結んでいる島根県雲南市において、留学生研修旅行を実施しました。本研修は、本学の外国人留学生に雲南市の農産業に触れ、更にそこに暮らす人々との交流を通して日本の里山・農業に国際的な関係人口を育てることを目的に行われました。

研修のスタートは、吉田町で栄えた「たたら製鉄」の歴史学習から始まりました。次に、地元の高校生が田植えをした圃場へ出掛けて日本農業の現状やお米ができるまでの流れを学んだ他、高校生と一緒に地元で自生するクロモジの葉を煎じて作った煎液に手ぬぐいを漬ける草木染を体験しました。夜には地元食材を使用したBBQを行って留学生同士の交流を深めた他、地域の神楽団による神楽（演目名：簸の川大蛇退治）を鑑賞しました。翌朝には地域住民の方々にタケノコ、フキ、シイタケといった地元農産物を使った朝食を準備してもらい、田舎の味を堪能しました。研修最後となる葡萄園では、ワイン工場見学や葡萄畑の葉摘みを体験する等、2日間にわたって様々な活動を行いました。

研修に参加した留学生からは「新しい留学生の友達ができた」「島根の魅力や日本文化を知る良い機会となった」等の声が聞かれ、留学生同士や地域の方々との交流を楽しむとともに、雲南市の生活文化や伝統芸能に触れ、中山間地域の魅力を知る貴重な経験となりました。

<記録写真>



たたら製鉄について説明を聞く留学生



高校生との交流活動



神楽を鑑賞する様子

<参加者からのコメント>

鄧 志敏さん（中国）/DENG ZHIMIN

雲南研修旅行で印象深いのは一日目の夜に神楽を見たことと、二日目に葡萄園で農作業をしたことです。神楽は、セリフの日本語が聞き取れませんが、一番インパクトなシーンはスサノオがヤマタオロチと戦うシーンでした。スサノオが負けそうな時、空気がまるで固まっているような緊張感を感じ、自分もヤマタオロチと戦っているような気になりました。また、葡萄園での農作業も楽しかったです。疲れましたが、こちらで働いている従業員が普段一日中にこのような仕事をしていることに尊敬します。雲南研修旅行に楽しかったことがいっぱいですので、またこのようなイベントがあれば参加したいと思います。

モッソ モニックさん（ブラジル）/MOSSO MONIQUE

雲南市の体験では、かけがえのない思い出を作りました。田舎の美しい景色だけでなく、そこに住む雲南市の人々の優しさにも触れることができました。たたら製鉄や出雲神楽といった日本の歴史・文化はとて強く心に響き、訪れた施設にはすべて物語があるということも分かりました。山々の緑を見たり、今回の研修に参加した沢山の皆さんと気楽に笑ったりしたことは、きっと忘れられないはずですよ。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Center for International Exchanges, Shimane University
事業名	Practical Activity 2025 in Unnan: Discovering the Attractiveness of Agriculture and Interaction through Agriculture in the Mountain Area